

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【公開番号】特開 2008-93824 (P2008-93824A)

【公開日】平成 20 年 4 月 24 日 (2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報 2008-016

【出願番号】特願 2007-257254 (P2007-257254)

【国際特許分類】

B 2 5 B 21/00 (2006.01)

B 2 5 B 29/02 (2006.01)

【F I】

B 2 5 B 21/00 C

B 2 5 B 29/02

B 2 5 B 21/00 5 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 30 日 (2009.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液圧媒体で付勢される液圧ピストンを備え、該液圧ピストンが、その液圧ピストンに作用する締付け力を被締付けボルトの端部に中間要素を介して伝達し、液圧ピストンおよび中間要素がケースで取り囲まれている液圧式締付け装置において、

締付け力を伝達する中間要素 (14) が、その第 1 端部 (18) で液圧ピストン (13) にねじ込まれ、第 2 端部 (19) でボルト (11) にねじ込まれ、ケース (15) に、中間要素 (14) の第 1 端部 (18) に隣接して狭隘部 (21) が、中間要素 (14) の第 2 端部 (19) に隣接して中間要素 (14) の凹所 (23) に係合する保持ピン (22) が、各々付設されたことを特徴とする液圧式締付け装置。

【請求項 2】

締付け力を伝達する中間要素 (14) が伸びナットとして形成されたことを特徴とする請求項 1 記載の締付け装置。

【請求項 3】

ケース (15) が、液圧ピストン (13) と中間要素 (14) とを取り囲むケース部分 (16) と蓋 (17) とを有し、該蓋 (17) が保持ピン (24) を介してケース部分 (16) に固定されたことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の締付け装置。

【請求項 4】

ケース (15) とボルト (11) で締め付けるべき部品 (12) との間に、ボルト (11) にねじ込まれたナット (16) を包囲する加圧部材 (25) が配置されたことを特徴とする請求項 1 から 3 の 1 つに記載の締付け装置。